



# さわやか

健康  
誠実  
敬愛

令和6年4月9日 西東京市立田無第二中学校 4月号

## 一日を摘め

校長 矢野 尊久

古代ローマの詩人ホラティウスの詩に登場する語句で有名な言葉で、ラテン語で「Carpe diem、カルペ・ディエム」という言葉があります。「一日の花を摘め」、「一日を摘め」などと訳されます。この意味は様々な解釈が加えられていますが、「今日できることが明日もできるとは限らないのだから、タイミングを逸することなく、チャンスはその日のうちにつかめ」また「その日がどんな日であっても必ず花を摘め」というふうに解釈されています。もう少し前向きに解釈すると「毎日毎日色々な事があるかも知れないけれど、その日を精一杯生きて行くことが大切、その日その日を大切に生きなさい、日々花を摘むように心を整えて今日を過ごし、生きなさい」となります。

始業式の講話の中で生徒たちに、この言葉のように毎日を大切にしようという話をしました。何かを特別に頑張ることも大切だけれども、もっと大切な事は毎日毎日を大切にし、一日の終わりに「今日はしっかり頑張ったな」と思えるようにしてくださいと伝えました。今日という日は二度とありません。そしてこの瞬間、瞬間も同じで、かけがえのない時です。その気持ちで毎日を大切にしていけば、1年後にはきっと大きく成長するのではないのでしょうか。全ての生徒、教職員にとってそんな令和6年度になることを願っています。

保護者、地域のみなさま、今年度も田無第二中学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。教職員一同創意工夫しながら生徒に寄り添い、新しく田無第二中学校を築いて参ります。

## 令和6年度学校経営案（抜粋）※全文はホームページに掲載いたします。

### 生徒が生き生きと学ぶ学校、持続可能な社会の創り手の育成

- ・思いやりと礼儀があり、優しさ、あつたかさ、人間関係（教師－生徒、生徒－生徒）に絆のある学校
- ・一人ひとりを大切にし、誰一人取り残さない学校
- ・生徒の資質・能力を伸ばせる生徒主体の学校、生徒それぞれに居場所のある学校
- ・教職員が目標をもって経営参画し、生きがいを感じる学校
- ・保護者や地域が信頼し、ともに育む学校→学校・家庭・地域で「ともに育む」教育環境の充実

### 自分も他人も大切に作る生徒、その上で主体的に自身の力の向上を目指す生徒

- ・受け身ではなく主体的な学びの姿勢をもつ生徒→子どもが未来を切り拓く「生きる力」の育成
- ・相互に人権を尊重し、支え合う生徒、人に優しい生徒
- ・社会性を大切にし、自分の居場所がある生徒
- ・自ら考え判断、表現し、メタ認知ができる生徒
- ・取り組むことで達成感を感じ、自己肯定感のもてる生徒
- ・自ら課題を設定し、解決に向けて周囲と意見交換し、協働しながら学習する生徒

### 「目指す生徒像」に向けて主体的に経営に参画する教師

- ・一人ひとりの生徒をあたたく大切に育む教師、深い愛情をもって生徒の良き「聴き手」となり、支援する教師
- ・高い専門性を持ち、創意工夫に満ちた分かりやすい生徒主体の授業に努める教師
- ・指導過程で教師がファシリテーションすることで生徒の力を伸ばす教師
- ・ICT活用能力の向上に努める教師
- ・教育活動全体（授業、行事、諸活動、地域との関係等）において目標を設定して組織的に取り組む教師
- ・臨機応変にスピード感をもって解決すべき課題を見付け改善を行う教師→PDC AサイクルからOODAサイクルへの変換